



地元のエールが力になる 応援します！ 荒尾市選手団

9月18日(土)・19日(日)開催!

第65回熊本県民体育祭荒尾大会

⑦バドミントン ⑧バレーボール ⑨バスケットボール

出会い
ときめき
県体

バレーボール 荒尾市のバレーボールは、女子のママさ



バドミントン バドミントン王国と呼ばれる熊本ですが、荒尾でもバドミントンは競技人口が多い種目です。ここ10年間で8度、ベスト4以内の成績を収めています。バドミントン協会理事長の平島さんは「県内は全国レベルの有名選手が多く、ハイレベルです。勝ち上がるのは難しいですが、地元優勝を目指します」と力強く話しました。ラリーの応酬、シャトル変化やスピード感、ダブルスのコンビネーションがバドミントンの見どころ。今年の県体では、荒尾で全国トップレベルの白熱した試合が楽しめそうです。

写真インタビュー

- 1 バドミントン協会理事長 平島廣幸さん(井川口)
- 2 バレーボール協会理事長 松家幸男さん(辻町)
- 3 バスケットボール協会副会長 寺尾俊二さん(大正町)

バスケットボール 「楽しみながら競技をしたいという、若い人のチームが増えつつあります」と話してくれたのはバスケットボール協会副会長の寺尾さんです。県体では、男女ともに母体となるチームに補強選手を加えて臨む予定です。世代交代などで成績が低迷した時期もあったそうですが「男子は中・高での県優勝経験者や国体経験者が選



んチーム2チームが主体になっていて、男子チームがないことが課題だそうです。しかし「男子も若手選手を集めて挑戦していきます。県トップレベルの選手が2人、加わってくれました」と、バレーボール協会理事長の松家さん。「男子より選手層が厚い女子にも、実業団で活躍した選手がいます。ベスト4を狙える実力があると思います」と明るい表情です。ジュニアの育成にも着手していて、今後は県体をきつかけに、市内に競技者を増やしたいと語りました。



手に加わっていますし、女子では若手が伸び、チーム力が上がってきています」と有望だそうです。男子は優勝、最低でもベスト4、女子もベスト4を狙っています。

ボランティアスタッフの募集

熊本県民体育祭のボランティアスタッフを募集しています。選手・関係者あわせて約1万人を迎える、市では14年ぶりの大きなスポーツイベントです。市民の皆さんのご協力をお願いします。

●**応募資格** 熱意のある人ならどなたでも(未成年者は親権者の同意が必要) ●**活動内容** 場内整理、会場案内、救護など ●**募集期間** 8月31日(火)まで ●**活動期間** 開催当日(9月19日)まで

●**応募方法** 住所・氏名・年齢・電話番号を、電話またはFAXでご連絡ください。

「**申・問**」県体荒尾市実行委員会事務局(運動公園管理事務所) ☎ 62・0400

FAX 62・1228

題字を書きました



荒尾第二小学校 5年 寺本 邦宏 さん

学校は楽しいです。普段から勉強もスポーツもがんばっています。特に四年生から部活で始めたバドミントンは楽しく、荒尾の大会で優勝したことがあります。将来はバドミントンの選手になりたいです。

■ おもな内容 main contents

応援します!荒尾市選手団 シリーズ県体③	2
まちの話	3・20
万田坑復坑祭 2010 万田坑「つぎの夢」へ	4
介護保険料 納付通知書を送付します	7
病児保育事業が始まります	10
あらお荒炎祭 出店者募集 & Tシャツ発売	12

荒尾市ホームページ (<http://www.city.arao.lg.jp>)
声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声訳(録音版) 広報誌] (福祉課)

※通信費は閲覧者の負担です
携帯電話専用サイト 二次元コード▶

<http://www.city.arao.lg.jp/defaultM.aspx>





PICK UP!

ひとのちから

歌で荒尾を 元気にしたい!

～歌をたくさん届けたい…荒尾出身
シンガーソングライター 弥栄さん～

今回の「まちの話題」は、20ページ(裏表紙)にもカラーで掲載しています

100歳 おめでとう ございます

山根ツルエさん
(白寿園)

5月に100歳のお誕生日を迎えられた山根ツルエさんが、4月27日(火)、前畑荒尾市長から記念品が贈呈されました。
ご家族や施設職員の皆さんに囲まれ、たくさんのお祝福を受け、市長訪問のひと時を過ごされました。

5月1日の万田坑に、若々しい歌声が響きました。シンガーソングライターの弥栄さん(唐池)です。
「お祭りなどで使う掛け声『いやさか』を読み替えて『やえい』です」と、芸名の由来を話してくれ

ました。めでたい言葉で自身を駆り立てる思いが込められているそうです。

「20歳のとき大きな挫折を味わいました」もともと歌が好きだったそうですが、苦しいときに歌に支えられたことが歌を歌うきっかけになりました。

「分け隔てなく歌を届けたいので、無料にこだわっています」この日も自作のCDを、万田坑ステーションで無料配布しました。挫折を乗り越え、本格的に活動を始めた今年は、大阪でのライブも決定しています。

「大げさに言えば荒尾を背負って立つ気持ちがありました」と、愛郷の思いを語る弥栄さん。今後の活躍を応援したいものです。

▲「アーティストとして覚悟を欲しているので」と、本名は内緒だそう。

荒尾の元気を企業と商店街から発信

～なんでんかんてん市 開催～

5月8日(土)と9日(日)、チャレンジプラザ(荒尾市起業家支援センター)で「なんでんかんてん市」が開催されました。昨年まで入居企業の紹介が中心だった「チャレンジプラザ企業展示祭」が、地元の5つの商店街振興会の協力を得て、装いも新たに開催されました。
当日は入居企業等の商品のほか、野菜や果物などの販売も行われ、朝から賑わいました。この市は、今後も年に1回開催される予定です。

▶バナナの叩き売りの実演の様子。滑らかな口上に、来場者も手拍子を打ちながら笑顔で楽しんだ。



体調をチェックし、健やかに過ごして

～看護の日フェスタ 開催～

5月12日(水)、市民病院で「看護の日フェスタ」が開催されました。市民の皆さんに健康への関心を高め、病気の予防の大切さを実感してもらおうことを目的に、毎年開催されています。

当日はおよそ50人が、身長・体重や血圧・血糖、骨密度などの健康チェックを受け、それを元に栄養や健康について、栄養士や保健師などの専門家に相談しました。
毎年訪れる人もいて、日頃の健康管理に役立てていると話していました。

▶1 一人ひとりに丁寧な健康チェックが行われた様子。日々の健康管理について親身にアドバイス。
2 相談の様子。

